続 Birthday 前編

（加筆修正2回目）

-ADULT ONLY-

原作 overdose 「birthday」より。

※ 原作者様の許可は得ていない二次創作となります。
もし作者様より削除して下さいとの連絡あった場合は、
私の名義でのpixiv上に載せているoverdose birthday
関連の物は、即削除致します･･･。

by お雑煮

僕が京子さんの誕生日を
祝えなかったあの日、
朝帰りしてきた京子さんの様子は
明らかにおかしかった。

京子さんはあの時、
僕の知らない男と
一夜を明かしていた。

コン
コン

お帰りなさい。
京子さん・・・。

何があったのか、
僕はよく分からないけど・・・
誕生日おめでとう。
・・・。

今日できなかった誕生日のお祝い、
僕、改めてするからさ。

だから、元気出してよ。

反応なし・・・か。

軽く食べられるものでも作っておこう・・・。

僕は何も考えていなかった。

何も気が付かずに、
彼女への思いを一方的に抱いていた・・・

圭くん…。私…。
カタ
カタ
カタ

また頼みたいんだが、いいか？
ああ。楽しめそうな女だ
じゃあ頼んだぞ。
それじゃ
アアアッ
ダメッ
奥まで入ってるッ
アアアッ
クク…。

ん…
寝ちゃった…
圭クン…
ご飯ちゃんと
食べたのかな…
あ…
私のお昼ご飯作ってくれたんだ…
誕生日のお祝い、
準備してくれてたのに
すっぽかして…
もう愛想尽かされても
おかしくないはずなのに…
情けないな…
気持ち切り替えなきゃ。
こんな事で圭くんとの
関係壊したくない

忘れよう。
こんなのどうって事ない。
大人の私がしっかりしなきゃね。

負けちゃダメだ・・・

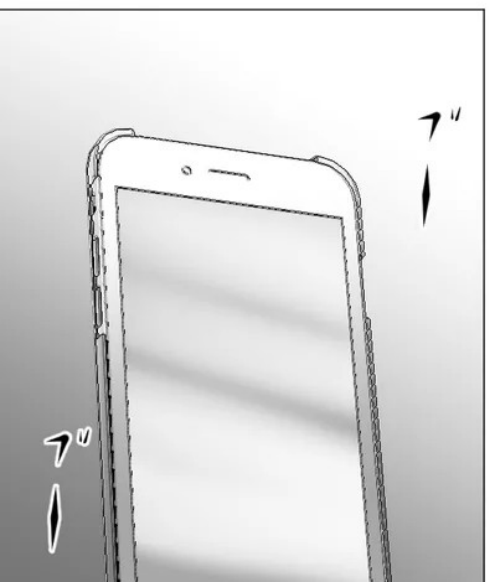
数日後
おはよう。
行ってらっしゃい。
うん。
行ってきます。
京子さん、
今日って仕事遅くなる？
そんなことないと思うけど・・・
どうして？

この前、僕達、誕生日祝えなかったでしょ？
うん…。私のせいで…。
あ、いやそうじゃなくて
代わりにさ、今夜、外でご飯どうかなって。今日、金曜日でしょ？明日休みだし…そこでお祝いしたい。
どうかな？
圭クン…

ありがとう。
嬉しい。
行きましょう。
じゃあ、仕事終わったら
電話してよ。
外で待ち合わせしよう。
うん・・・。
うなずいた京子さんは、
少し元気になったように見えた。

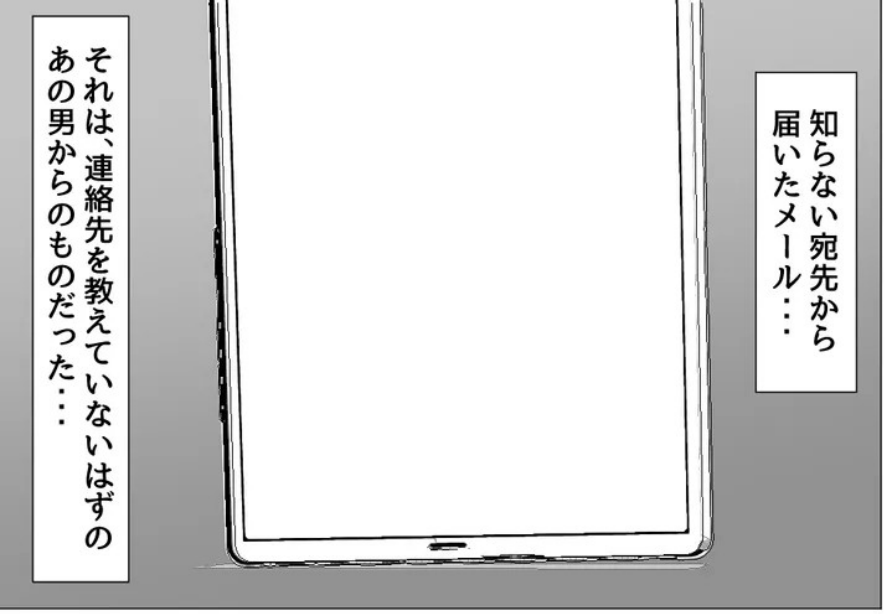
それじゃ、行ってきます！
今夜、楽しみだな。

バタン


ブー
ブー

？
ブー

いいのかな…
あんな事があった後なのに…



どうすればいいの…？

警察に相談すべき？

でも

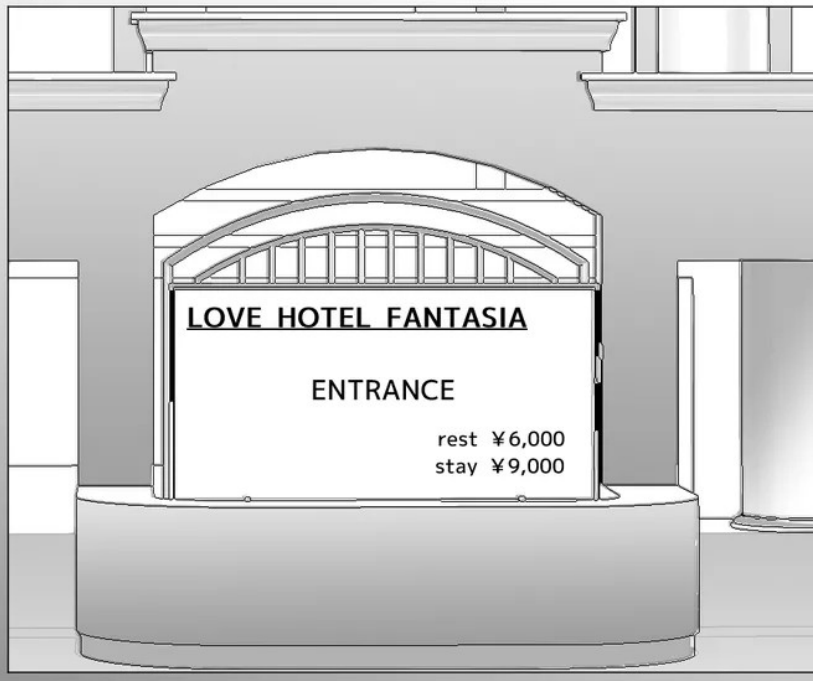
もし騒ぎにして、男が腹いせに
動画をインターネット上
に投稿でもしたら・・・

あっという間に拡散して
圭くんが知る事となる・・・

それだけじゃない・・・

もし学校の友人達の間で噂になったら・・・
圭くん、学校にいられなくなるかもしれない・・・

圭くんを・・巻き込む訳にいかない・・・



私達のこの生活を
守らなきゃ・・・

動画・・・
絶対に削除させなきゃ・・・

約束通り来てあげたわよ！
あんな動画撮って・・・
早く削除して！
ああん？
拡散しないって話はしたが、
俺は、削除するなんて一言も
言ってないぜ？
ふざけないで！
動画がある限り、
ずっと脅すつもりじゃない！
そうだねぇ
でも、いいじゃないか。
お前も気持ち良いセックスできるんだし
この関係も悪くないだろ。
クッ

ダメ…
相手のペースに乗せられてる！
でも…どうすれば…！
グッ
そういや…
お前、今、変な子供と一緒に住んでいるだろ？
なっ…！？
なんでそれを！？
知り合いに頼んで、お前の事、調べてもらった
年下の子供を家に連れ込むなんて、やるじゃないか。
違っ…！あの子はただ…親戚に頼まれて預かっているだけよッ
知ってるぜ。あのガキがお前のとこに来たがったらしいじゃないか。お前に惚れてな。
それこそ、あの子供に、この動画、見せたら、喜ぶよな。
いや…やめてよ…
ああ…。一応言っておくと、あの子供の連絡先も調べ済だ。
この意味分かるよな？
クン
クン
圭クン…ッ！

続 Birthday 中編

（加筆修正2回目）

-ADULT ONLY-

原作 overdose 「birthday」より。

※ 原作者様の許可は得ていない二次創作となります。
もし作者様より削除して下さいとの連絡あった場合は、
私の名義でのpixiv上に載せているoverdose birthday
関連の物は、即削除致します･･･。

by お雑煮

もういいだろ。観念しな。
部屋入ろうぜ
俺は、気に入った女は、どんな手を使ってでも手に入れるタイプでね。
アッ！ちょっと！イヤッ！
あああッ！離してッ！
セックスしたら、どうせ気持ち良くなって、色々どうでもよくなるんだしな。
そんな事ないッ！

ンフゥッ！！
アアアアッ！！
こういう事する為に、
ここに来てるんだからさ。
アアアアアッ！

ンンン――ッ！
ギチ
ダメッ…
ほどけないッ！
ギチ
服脱がしてやる

触らないでよッ！
この下種野郎！！
アアア！
おお、
やっぱドスケベな身体してんな！
ダメッ！
ダメッ！
アアアアアッ！
レロ
レロ
え・・・ッ！？
ウソ・・・ッ私・・・ッ
この前した時より、
ヒッ・・・
ンッ！
ハアア・・・
ンッ！
身体が感じやすくなってる！？

ンッ！
でも、流されちゃダメよ！
このままじゃ言いように
ヤラれちゃうだけじゃないッ！
ンッ！
ンッ！
耐えなきゃダメェ！
アアッ！
いやぁっ！
あああああッ！

ヒグ…
ウッ…
口では嫌がってても、
身体はすぐ反応しちまうんだな！
なんで！？
なんでこんなあっさり
力が抜けちゃうの！？
おら
もう素直になれって！
ムグゥツ！
自分が只の牝だということを
嫌でも自覚させてやるからな。
さぁ…
全部脱いじまうか。
アアアッ！

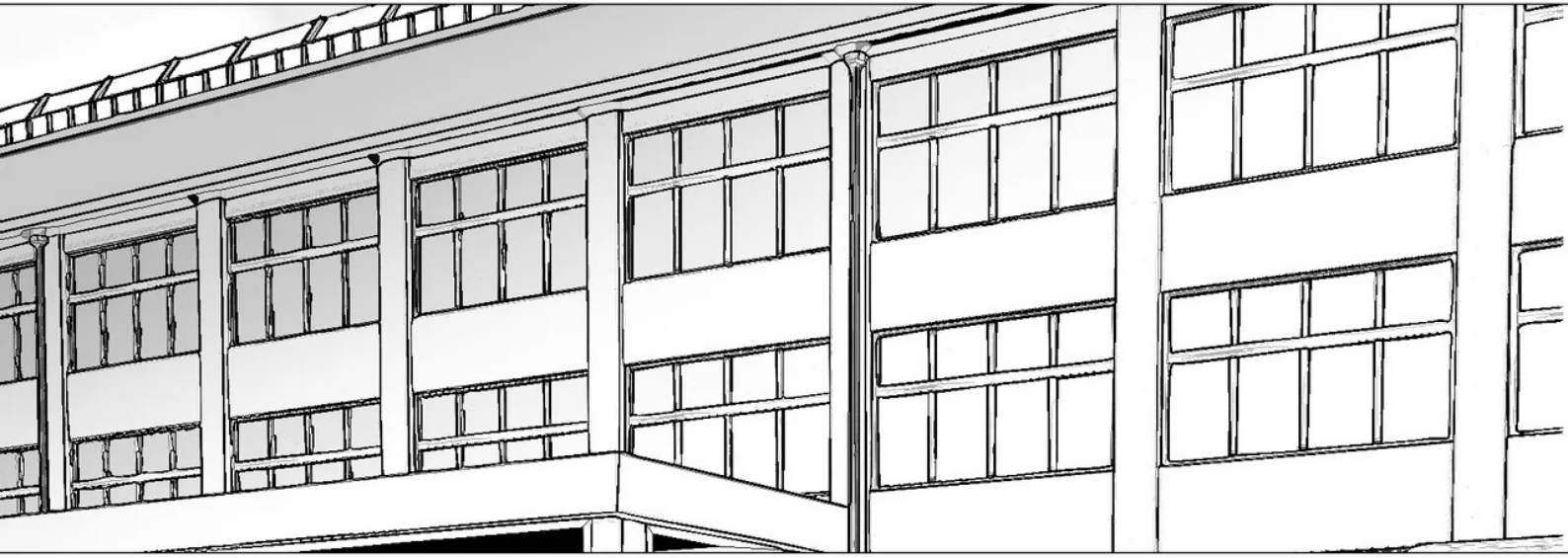
いいか？
今は気持ち良くなる事だけ
考えてればいいんだ。
ンングゥッ！

さぁて…。
一週間ぶりに可愛がってやるか。
ああああッ！
乳首だけで凄い刺激なのに！
今そこ舐められたら…ッ！
アアッ！
フアアアッ！
ピトッ
ジュル
ジュル
ンッ！
ンッ！

ペロ
ヒグッ！
ペロペロ
ズー
ハァッ！
ウアアッ！
ヌチャ
ヌチャ
ククク…おい。まだ舐めただけなのにヒクヒクし始めてるじゃないか！
そ、そんな事ない！
ヒク
ヒク
あんたなんか気持ち悪いだけッ…
さっさと終わりにして！
フン！いつまでも強がってんじゃねぇよッ！
バチーン
アアアッ！痛いッ！

早く終わりにしたいんだな？
望み通りさっさと挿れてやるよ
嫌！イヤアアアッ！
一気に貫いてやる！
ドズッ
アアアッ！

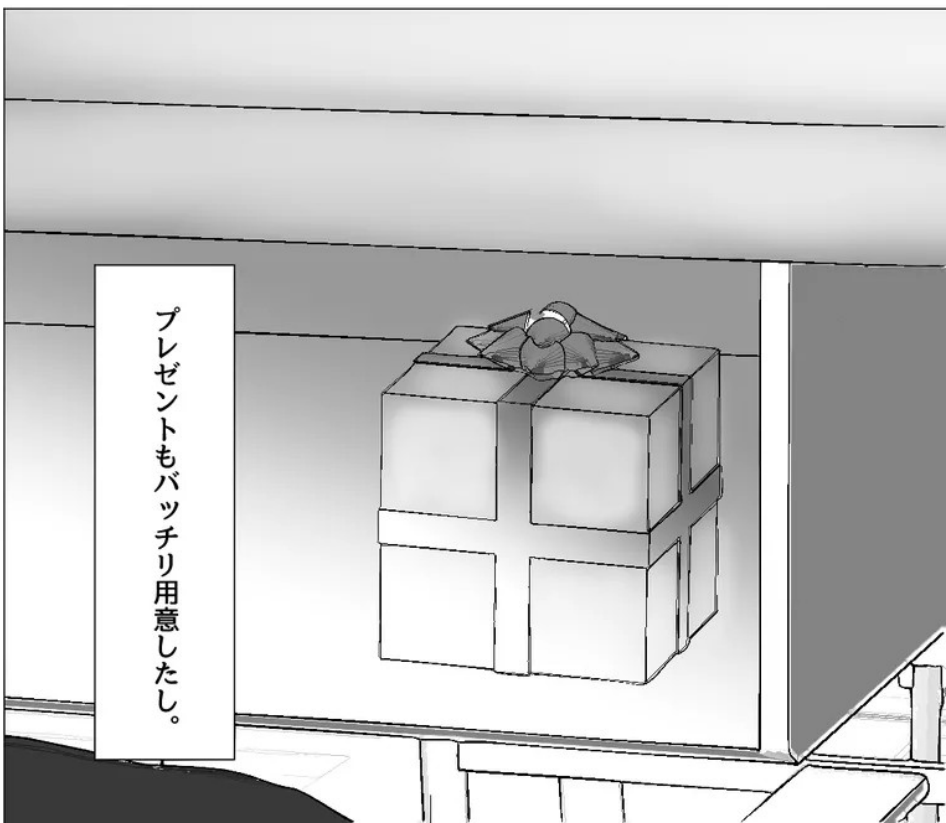
しっかり絡みついてきてんじゃねぇかよ気持ちいいんだろ？ド淫乱が！
ああああッ！！
グ
グ
ア
ア
ア
ア
ッ！
ウソよぉッ！
ア
ア
ア
ッ！
ド
カ
そんな訳ないッ！
ヒグゥッッ！
ド
ス
ド
ス



今頃京子さん、仕事してるんだよな。
早く放課後にならないかなー・・・

・・・。

今夜こそ、頑張るぞ！


プレゼントもバッチリ用意したし。

アアッ！
アアッ！
ヒッ！
アアッ！
アアアアアッ！

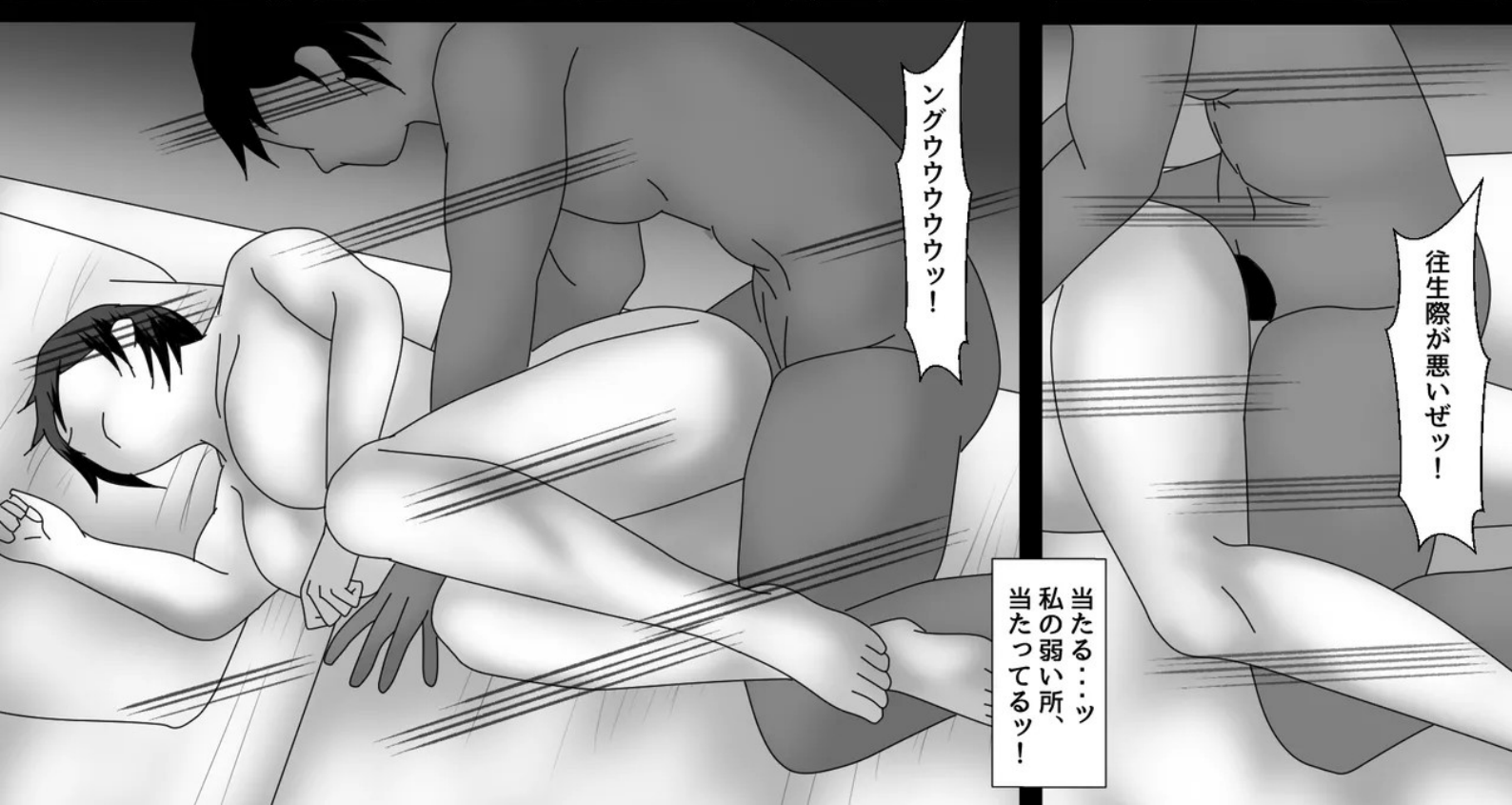
こ、こんなのって！
アアアッ！！

気持ちいいんだろッ？
声が抑えられなくなってるしなッ！！
フッ！！

我慢しても意味ねぇぞ
前回、セックスの良さを
身体が覚えちまってるからな
グゥッ！！

この前のセックスで快楽に溺れたのは
お酒で酔わされたせいなんだって
自分に言い聞かせて割り切ろうとした
ンングッ！
でも、今回は・・意識がはっきりしてる！
この状態で本気で感じたら、
それこそ圭くんを裏切る事になるのにッ
フグッ！

お酒が入ってない分、前回よりも
どうしても気持ちよさに意識がいくッ
アッ！
アッ！


往生際が悪いぜッ！
ングウウウウッ！
当たる・・ッ
私の弱い所、
当たってるッ！

もうダメッ！
もう…ッ
誤魔化せない！
アハァッ
ハッ！
セックス…ッ
気持ち良い！
アッ
アッ

ハァァッ！
ドスッ
ドスッ
自分から腰振りやがって
大分素直になったな。
さぁて…
じゃあそろそろ…
えっ…
あん？
なんだよ…？
中に…
出すの…ッ!?
当たり前だろ。
ダ…メッ…
それだけは…ッ
赤ちゃん
できちゃったりしたら!?
ねぇっ！
ああ…？
一回位でできるもんじゃねぇさ
そんな…ッ
お願いッ
私…ッ好きな人…
いるのっ！
ああ？
うるせえなぁ
どうせ、あのガキだろ？
情にほだされやがって
俺が諦めさせてやるよ

フアア
終わった
おーい

ガヤ
ガヤ

この後暇か？
帰り、どこか寄ってかね？

圭ー
ん？

まさか…
あのお姉さんとデートなのか？
お前は本当
変わっちまったよ！

あー…。
ごめん。今日はこの後、
予定があって…
何だって！？

ホント、ごめん！
次は必ず付き合うからさ！

今日だけは遊べないよ・・・

京子さんから仕事終わりの連絡来るまでは、
カフェとかで時間潰すか。

仕事遅くまでかからないって言ってたし

きっとすぐ連絡来るよね。

FAMILY RESTAURANT

まだ、
仕事中か・・・

・・・。

続 Birthday 後編

-ADULT ONLY-

原作 overdose 「birthday」より。

※ 原作者様の許可は得ていない二次創作となります。
もし作者様より削除して下さいとの連絡あった場合は、
私の名義でのpixiv上に載せているoverdose birthday
関連の物は、即削除致します･･･。

by お雑煮

と言っても、俺も鬼じゃないからな。チャンスやるよ…。俺とシックスナインしてイカせ合いしようぜ。先にイッたら負けだ。それでお前が勝ったら、

えっ…

動画消してやるし、全部この関係も終わりでいい。勿論、今日もこれで解放してやるよ。

そんな約束！信じろっていうの？！

約束は守るぜ？好きな男への本気を見せてくれよ笑別にやらないならそれでいいや。このまま中出しセックスしまくるだけだから。

待って！や、やるわよ！やればいいんでしょ！

ンッ
ンッ
グポ
グポ
一回でもこの男をイカせれば、終わる！
圭くんに会いに行ける！
せいぜい頑張れよ。
さて、俺も、クリ責めするぜ。
ンンンンンン――ッ
ほら、何気持ちよくなってんだ？手が止まってるぞ
ンふぅっ・・・
ビク
ビク

ああああッ・・・舌がクリを吸い上げてくるッ
ムギュー
アッ
アッ
私・・・ッ
さっきのセックスでも、
イキそうになってたから、
絶頂の感覚が近くなってる・・・ッ
早くイカせなきゃ！
私の身体が保たないッ！
ンンンンンン――ッ
ジュー
ジュルジュル
ジュー
アアアアッ・・・
気を抜いたら、
すぐイッちゃうッ！
アアアアッ
そんなに強く吸わないでッ
ダメエッ！！

おっと・・・。
スッ
アアッ・・・？
ビク
ビク
ハァ・・・
お、物欲しそうな顔だな？
ハァ・・・
イキたかったのか？
でも、賭けに負けるぞ？
すぐゲームオーバーになるのも
面白くないから、
イク寸前で止めたよ。
余計なお世話だったかな？
クッ
ほら、続けるぞ。
今度は指で責めてやるよ。
あああッ・・・

私、今イキそうになった時…
それでいいって一瞬思ってしまった…
でも…諦めちゃダメ！
ンッ
ンッ
ンッ
ンッ
ンッ
ンッ
肉欲に負けそうになるけどッ
今は圭くんの事だけ考えてッ
ほら、せっかくチャンス
やってるんだ、
気合入れてやれよッ！
遊ばれてる…！
でも…ッ
なんとかイカせて…ッ！
終わりにさせるッ！
ンッ
ンッ

…。

FAMILY
RESTAURANT
P

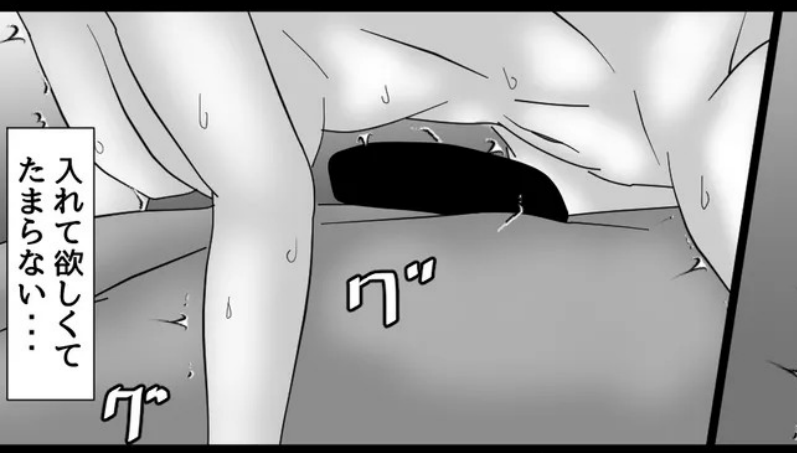
もう八時過ぎだ…
仕事早く終わるって言ってたのに…
何かあったのかなー…
予約しておいたレストラン…
予約時間大分過ぎちゃってるよ…

あああッ
指ダメェッ！
集中できないィッ！
フグッ
ングッ
プシュ
ドス
コイツ、何で全然イカないの?!
私…何度ももうイキそうに！
クチュ
クチュ
アアアアアアアア――ッ
あああッ…私…ッ
また…ッ
お?そろそろ
ストップだな笑
スパッ
プシュー
はアアアッ
意識が…少しずつ
ぼんやりしてく…ッ
うッ
うッ
堪え性のない女だな！
恋人への思いはそんなもんか!?
何回イキそうになってんだ?!

おらっ！こんな事じゃ、
いつまでも終わらないぞおおッ！
バチーン
アアアッ
パーン
パーン
パーン
あッ！
あッ！
あッ！
フゥッンッ！ンッンッ！
あッ！
イッ！
アハァッ！
あッ！

ハあっアア！
イクの我慢してるからなのッ？
どんな刺激でも快楽になるッ！
ウソ…？
お尻叩かれた痛みで…
イキそうに…ッ
パーン
パーン
ンッ！
ひいっンッ！
トロ
トロ
パーン
パーン
ンッ！
あ…あ…
な、何か出ちゃう…ッ
アアアアっ！
おー、盛大に
潮吹きやがった笑
ハアアっ！
ンンッ！

ふぐぅ…
ケツ穴、ヒクヒクさせながら、潮まき散らしすとか、ドMすぎだろ笑
ビクッ
ヒクヒク
ニヤー
ヒク
ヒク


入れて欲しくてたまらない…
グ
グ

あ…あ…

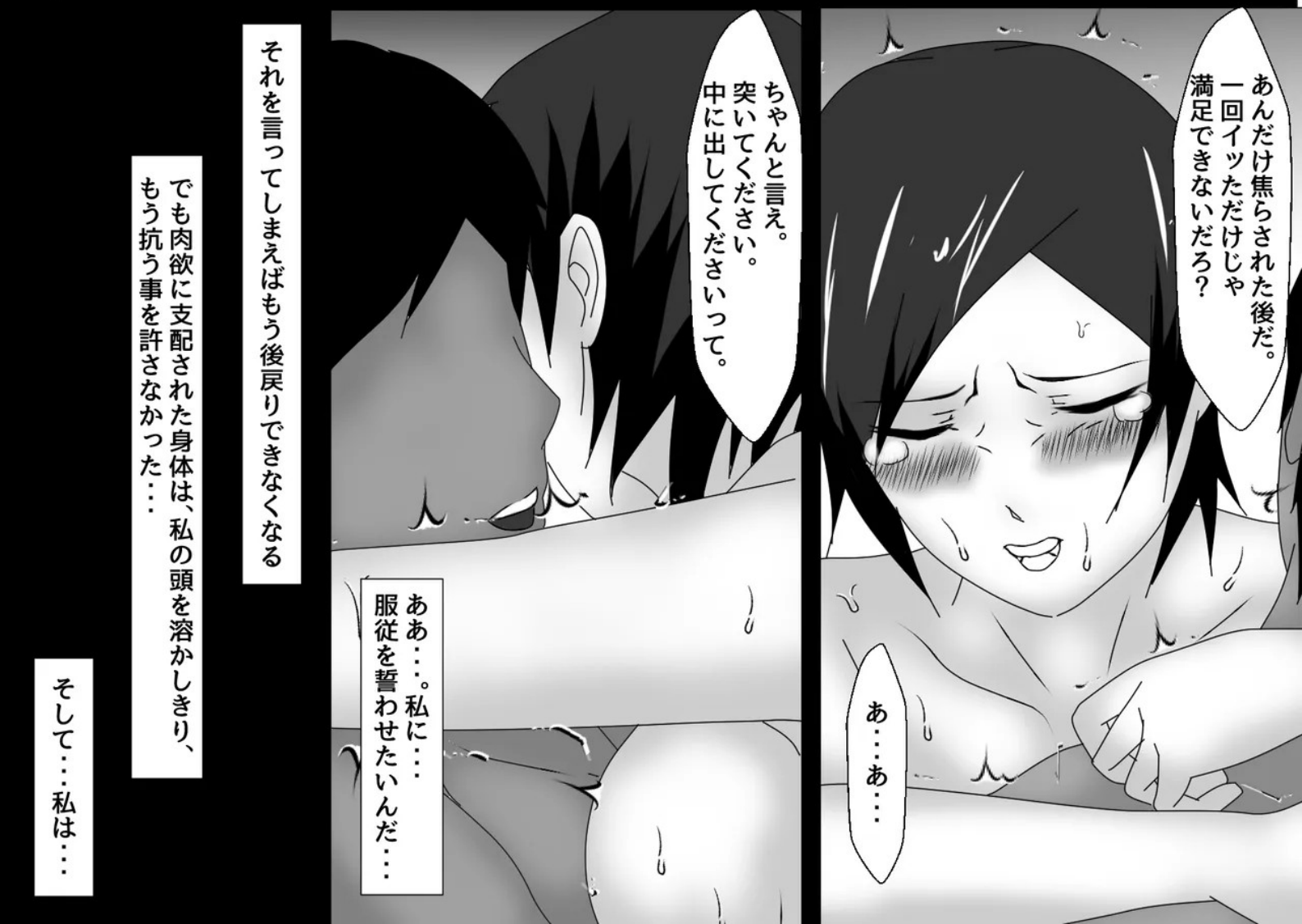
ンッ…

圭…くん…
もう…私…無理…かも…
ケ…イ…ごめんなさい…

ンッ…ンッ…！
ズ
ボ
アアアッ
ハアアッ…
ンッンンンッ
奥まで…
届いてるッ…
奥、擦れるの、
好きぃッ！
あああああッ
イキそうッ！

イクウウウウッ！！
ビクビク
アアアッ！！
ビクビク
我慢してた分、絶頂の感覚がなかなか引いていかないッ
しっかり味わってるな笑
ウッ！！
ウッ！！

ハァハァ…
何勝手に入れてんだ？
おい、京子。
ビク
ビクッ
俺のものを締め付けて
キュン
キュン
許可なくイキやがって
賭けは俺の勝ちだな。
今から中だしセックスするからな。


あんだけ焦らされた後だ。
一回イッただけじゃ
満足できないだろ？
ちゃんと言え。
突いてください。
中に出してくださいって。
あ…あ…
ああ…。私に…
服従を誓わせたいんだ…
それを言ってしまえばもう後戻りできなくなる
でも肉欲に支配された身体は、私の頭を溶かしきり、
もう抗う事を許さなかった…
そして…私は…

ズリ
ズス
ドス
ドス
あああああああッ！
ひいいいッ！

またいくうっ！
イッちゃううううッ！
ドスン
ブルン
ドスン
中で出すぞ！
だひてぇッ
パーン
パーン
パーン
中にイッ
あああああッ♡

オラっ、孕めッ！
ドドド

オラっ、孕めッ！
ドドド

綺麗に舐めとれ
アア…
フグッ
グッグッ
ウッ
ドクドク
ウッ
プハァッ
カハッ
ドドドド
ンフッ
チュパ
ンフッ
チュパ

ビク
ハァハァ・・・
ビク
ほら、そこに
四つん這いになれよ。
ゴソゴソ
まだ終わりじゃねぇからな。

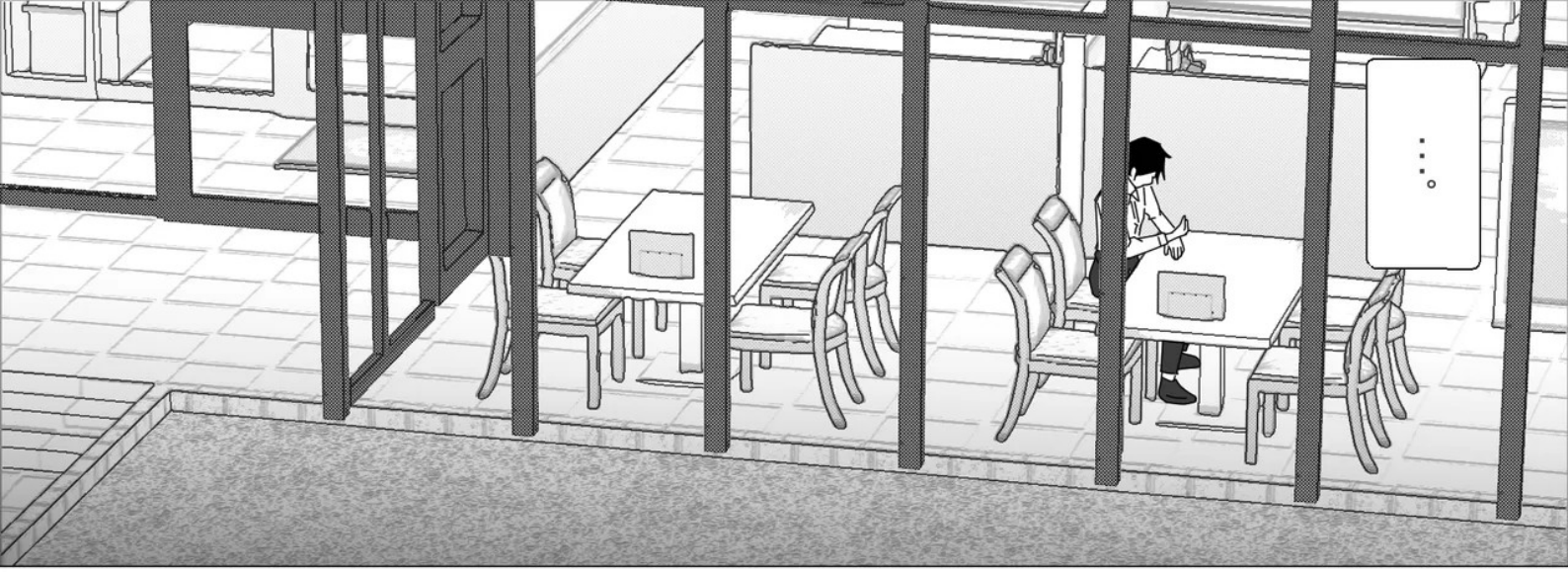
おら、尻を突き出せ。
自分の手で広げてみせな
アア・・・。
ハア。。。
ハア・・・
な、何をするの・・・。
ビク
ビク
新しい快楽を教えてやる
クッ
クッ
えっ・・・
嘘・・・ッ！
そこ・・・
違ッ・・・！

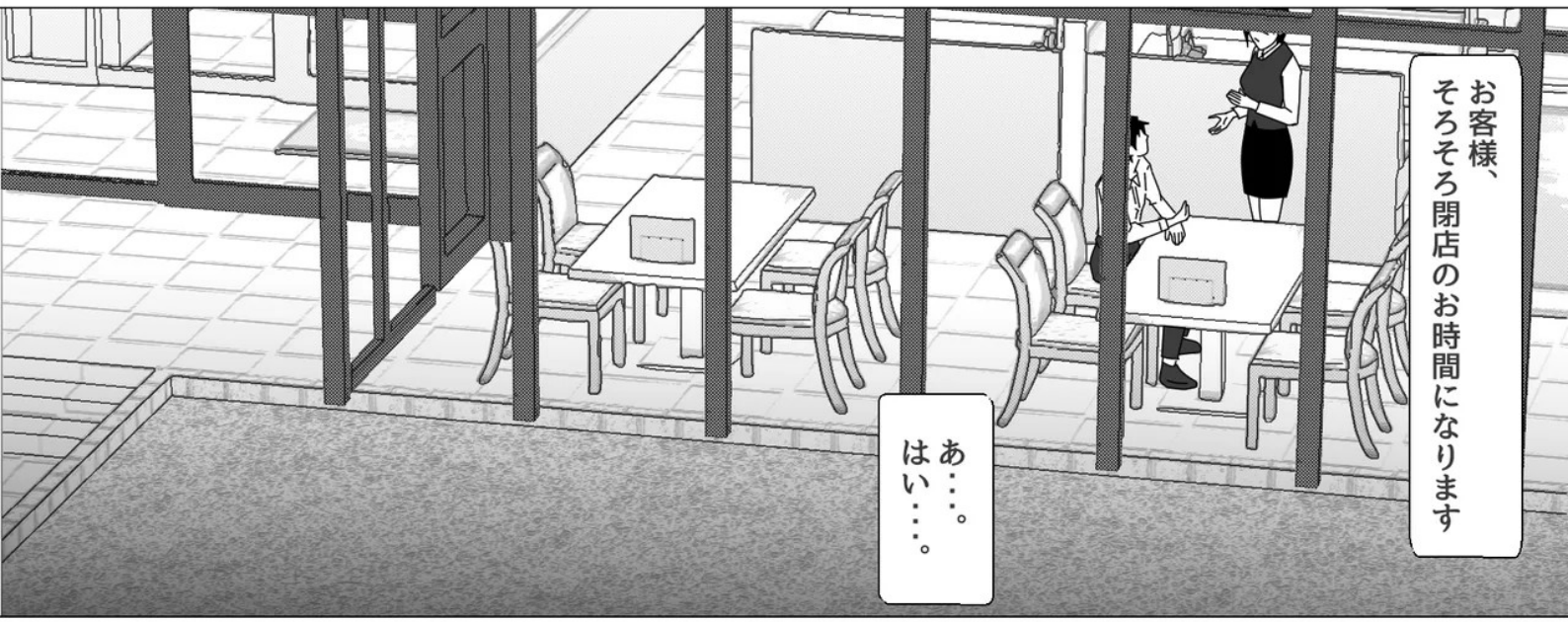
力抜け
少しずつ入れて
慣していくからよ
ズッ
ニュ
いやっあああああ
やめてぇっ！
そんなとこ入らないッ
グッ
グッ
グッ
うぐうううッ
一個ようやく入ったな
気分はどうだ？
あああああッ！
痛いッ！抜いてぇッ
こんなのダメエっ！
裂けちゃう！
これ以上
押し込まないで！
ねぇッ！！
お願い！止めてエっ！

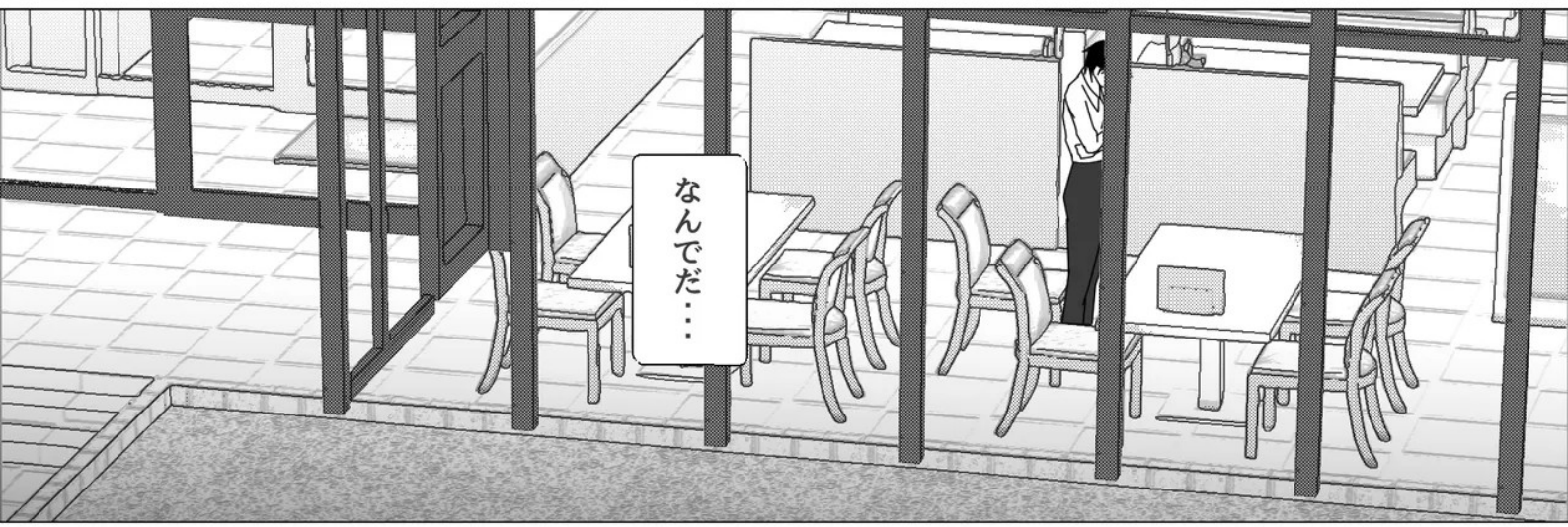
ズッ
ズーー
アアアアッ
だんだんほぐれてきたから一気に入れてやるッ
ズッ
ニュ
イヤアアアアッ

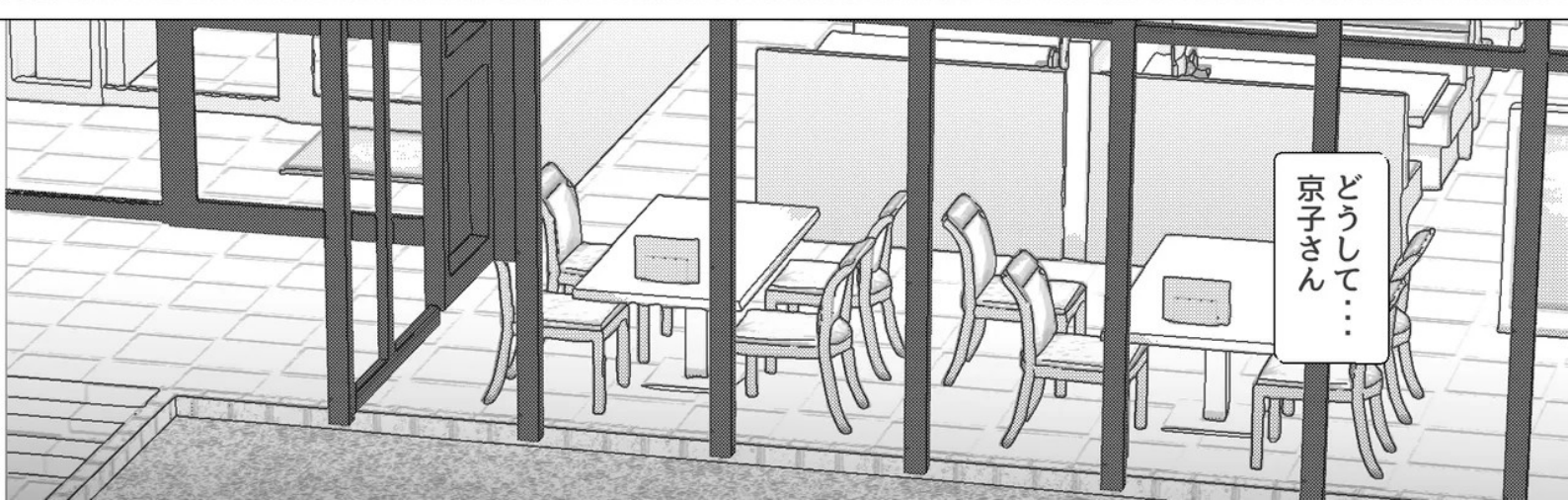
アッ
アッ

ほらほら、逃げるなじきに慣れる。
ウグゥッ


・・・。


お客様、
そろそろ閉店のお時間になります
あ・・・。
はい・・・。


なんでだ・・・


どうして・・・
京子さん

ジュポ
ジュポ
オッ
オッ
オッ

だんだんトロけた顔になってきたな
アアッ
マンコと尻穴同時攻めにすぐ馴染むなんて淫乱な体だ
アア…そんな事言わないでっ！

何言ってる。もっと気持ち良くなれるんだ。尻穴攻められる感触を楽しめよ。
そんな変態な事ッできないいッ！
オアアアッ

イヤアアッお尻で気持ち良くなるなんてぇっ！

気にするな。
もうド変態女
なんだから
おら、クリもつねったら
たまらんだろ。
クリと膣とアナル三つの刺激が
私に襲いかかり私の頭は
さらにパニック状態に陥った
ヒグウッ
クリを指で押し潰された時、
私は思わず悲鳴を上げた
アアアアッ
最初は痛みを感じていたお尻の穴の刺激も
クリと膣の快感と混ざり合い、
次第に気持ち良さに変わり始め、
フウウウッ
イッちゃうッ
私ッ
お尻とマンコで
イッちゃうッ
私は・・・
アナルでも感じてしまう身体へと
作り変えられていく・・・

イクウウウッ
ヒクヒク
ヒクヒク
オオオアッ
ビュ
アッ
ビュ
アッ
ハウウッ
ンッンッ
ンッ

尻に力入れて
バイブを
ひり出してみな
ンッ
ンンッ
ハウウッ
あはッ
はは。
汗と尻穴の匂いで
部屋中ムンムンだな
ド変態女め。
ほら、起き上がれ。
次はご主人様を
満足させる番だぞ。
ああッ

んッ！
アッ！

アッ！

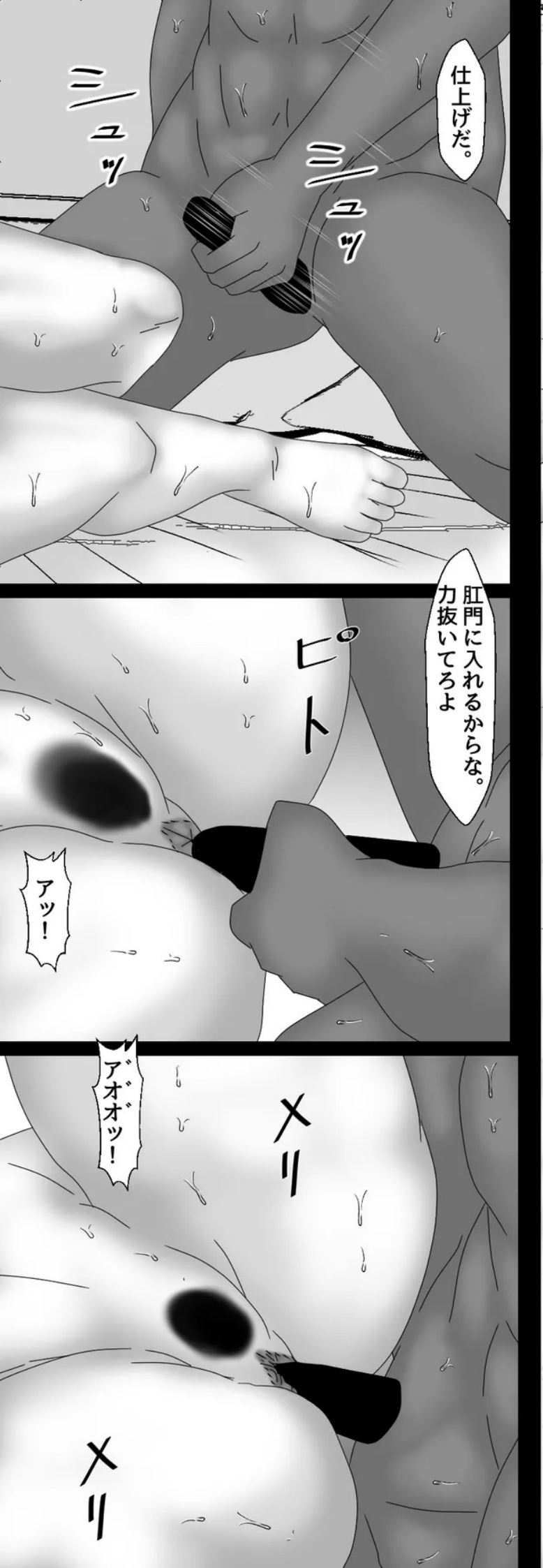
圭くん…
私、お尻もマンコも…
馬鹿になっちゃった…
んッ！

腰…
止まんない
んッ！
気持ち…
良い…

しっかり膣を締め付けながら腰を振れよ。
グッ
ンッ！
ニ
グッ
ニ
おら、手を抜いてんじゃねぇ！
ズズッ
ンーッ！
これじゃ俺をイカせる事なんてできないぞっ！
ズ
アッ！
お願い…優しく抜いてぇ…
アッ！
アッ！
パ
刺激が…強くて…腰に力が入らない…

ンっ
ねぇっ・・・
これで・・・
イケそう・・・？
ンっ
ンっ
ンっ
全然ダメだな
全く・・・
男の喜ばせ方も
分からないのか
罰として、
一気に引き抜くぞっ
エッ
ダメッ
アッ
イヤッ
アッ
あああああああッ

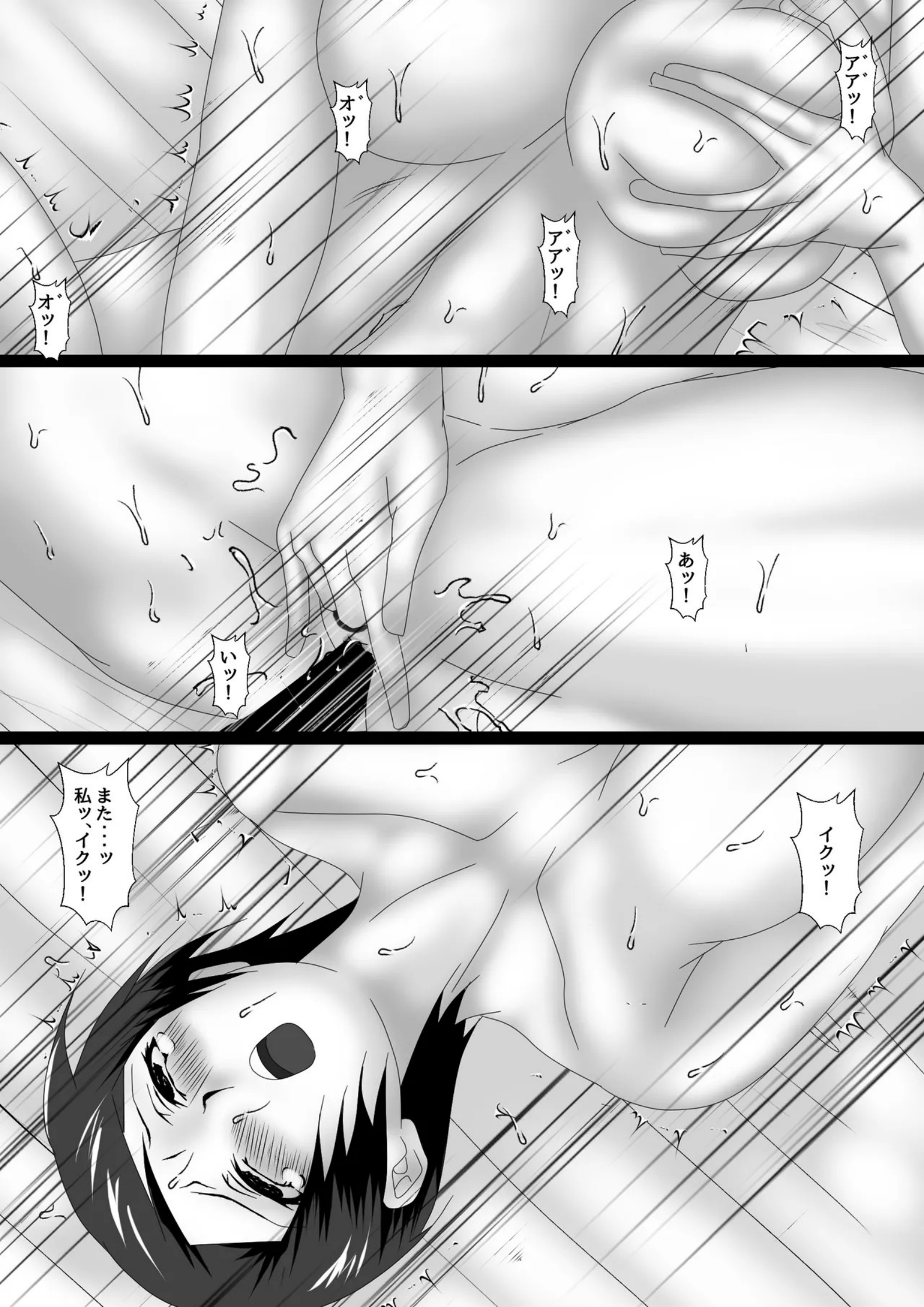
プッツン
アッ！
ンーーーーーッ！
ヒリヒリ
ガクッ
ンッ！
ンッ！
ンッ！


仕上げだ。
ニュッ
ニュッ
肛門に入れるからな。
力抜いてろよ
ピト
アッ！
アオオッ！
メリ
メリ

ハァ…
ハア…

アアアアッ！
ズ
ズ
お願いッ！
ゆっくりッ！
ゆっくりッ
動いてぇ！
グ
グ
お尻の穴
広がっちゃうっ
めくれてくっ！
ンングウウッ！
ドスッ
アガッ！

アアッ！
アアッ！
オッ！
オッ！
ああ…
満たされてく…
あッ！
もう…いっか…
今だけ…全部…
受け入れちゃおう…
いッ！
だって…
こんなに…
気持ち良いんだから…
アアアアアッ！


アアッ！
オッ！
アアッ！
オッ！
あッ！
いッ！
イクッ！
また…ッ
私ッ、イクッ！

アッ！
アッ！
オオヴッ♡

う…あ……
んッ…
ドクドク
んッ

わかったな？

は…い…

続 Birthday
Thank you for your reading